

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和7年9月24日

和泉市長 あて

団体名 和泉・久保憲ミュージアムタウンコンソーシアム

代表者名 会長 小宮 さえこ

所在地 和泉市内田町 1-6-33

電話番号 090-6674-5361

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

| | |
|--------------|--|
| 事業名 | 体験型アートコンクール あっぷサクラフト |
| 申請コース | (1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース |
| 事業費総額 | _____ 1,775,000 円 (うち、対象経費 _____ 1,775,000 円) |
| 支援金 交付申請額 | _____ 800,000 円 |

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

事業計画書

| | |
|------------------|--|
| 1 事業名 | 体験型アートコンクール あっぴサクラフト |
| 2 申請コース | (1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> テップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース |
| 3 事業の必要性（※別紙添付可） | <p>①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 和泉市は2017年に「和泉・久保惣ミュージアムタウン構想」を策定し、美術館を中心に文化的なまちづくりを進めています。しかし、地域住民や企業、NPO、行政の連携が不十分であり、地域全体で文化的価値を高めるには課題が残っています。また、地域住民の美術館や芸術に対する関心が薄れがちで、日常生活との結びつきが弱い現状です。さらに、地域資源やアートを活用した発信や、環境配慮への取り組みも不足しているため、持続可能な地域づくりには住民や企業の理解が不可欠です。</p> <p>②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民、企業、アーティスト、子どもたちが連携し、地域の文化的価値が向上します <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の認知度と魅力度の向上：文化的価値が高まることで和泉市の認知度が上がり、観光客や訪問者が増加。地域経済に好影響を与え、地域活性化を促進します。 ● 住民の誇りと愛着の醸成：アート活動により、住民の地域への誇りや愛着が深まり、地域コミュニティの一体感が強化され、住民による自主的な活動も活発化します。 ● 次世代教育への効果：文化的な経験の場が増えることで、子どもたちの創造力が育まれ、STEAM教育が促進され、地域に貢献できる人材育成にもつながります。 ● 地域外からの人材やアーティストの誘致：地域の魅力が高まり、外部からもアーティストやクリエイターが集まりやすくなることで、新たな視点や多様な活動が生まれます。 ● 持続可能な社会への意識醸成：不要物を活用したアート制作を通じて、住民の環境意識が高まり、サステナビリティへの理解が深まります。 ● アーティスト活動の支援と地域のアート・クリエイティブ活動の活性化：アーティスト支援の仕組みが整うことで、地域のアート・クリエイティブ活動がさらに活性化し、和泉市の文化的な魅力が外部にも広く発信され、地域ブランドの向上が期待されます。 |

4 事業内容（※別紙添付可）

①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。

【イベント効果】

子どもたちが企業から提供された不要物やアート素材を使って自由に作品を制作するアートワークショップを開催します。プロのアーティストも参加し、アーティストがライブでアート作品を制作することで、同じ空間で制作する子どもたちに制作技術やアイデアを共有し、創作のヒントやインスピレーションを与えます。参加者は制作過程を間近で見学でき、子どもたちは創作の魅力を直接感じられる場を提供されます。さらに、ワークショップで制作された子どもたちの作品は審査を経て優秀作品が表彰され、表彰式を通じて創作意欲の向上と地域での評価・関心の拡大を図ります。アーティストによるアート作品やグッズの販売ブースも設置し、来場者が作品を購入できる場を提供することで、アーティストの活動支援も行います。

また、同日には大学内で「のぞみの夏祭り」も開催されるため、地元イベントとの同時開催による来訪促進の相乗効果が期待できます。幅広い年齢層の方々が訪れやすく、イベント全体の魅力がさらに高まります。

あわせて、参加しやすい環境づくりにも配慮します。

会場入口にはベビーカー置き場を確保し、会場内の通路幅を広めに取り、安全に移動できる動線とします。また、前回の開催では休憩用のイスが不足したため、本年度はあらかじめ十分な数のイスを設置し、身体の負担に配慮が必要な方も安心して参加できるようにします。さらに、参加者の体格に合わせて作業しやすいよう、高さの異なるワークショップ机を準備し、無理のない姿勢で制作できる環境を整えます。

【期待される効果】

● 地域連携の強化

和泉市内外のアーティスト、クリエイター、地域住民、企業、行政が協力し、アートを通じた地域活性化を図ります。企業が不要物の素材を提供し、地域住民も観覧者やサポーターとして参加することで、地域の文化的価値が高まり、住民の創造的活動への参加が促進されます。

● STEAM 教育の促進

子どもたちが不要物を使ってアート作品を制作するワークショップを通じて、創造力や問題解決力を養います。アーティストとの共同制作や技術を活用するプロセスで、アートを通じて科学的・技術的な視点を学び、STEAM 教育の促進に寄与します。

● サステナビリティの推進

企業から提供された不要物をアート作品の素材として活用し、環境問題への意識を高めます。地域資源の再利用を通じて、持続可能な社会への意識を広め、住民や企業の環境配慮を促進する取り組みを行います。

● アーティスト支援と創造的空間の提供

当日はアーティストがライブで作品制作を行い、子どもたちに創作のヒントやインスピレーションを与えます。子どもたちはアーティストと同じ空間で制作活動を行い、プロの技術やアートの可能性に触れることで創造の幅が広がります。

● クリエイターの専門技術活用

コンクールのデザインの一部をクリエイターに委託し、イベントの質を向上させます。クリエイターの技術がイベント全体の魅力を引き上げ、参加者により豊かな体験を提供します。

● アート作品の表彰

制作された子どもたちのアート作品は審査され、優秀な作品に対して表彰が行われます。表彰式を設けることで、子どもたちの創作意欲を高め、地域全体で評価や関心が広がる機会を提供します。

● 観覧者の参加促進と地域経済の活性化

観覧者が訪れることで、アーティストのファンや市民をミュージアムタウンに誘致します。また、アーティストの物販ブースを設置し、地域経済の活性化に寄与します。

| | |
|--|--|
| <p>● 幅広い年代の交流促進 幅広い年代が楽しみながら交流できる環境を提供し、イベント全体の満足度を高めま す。</p> | |
| ②実施期間（日時） | 令和8年7月25日（土） 午前10：00～午後6：00 |
| ③実施場所 | 桃山学院大学（仮） |
| ④主な対象者 | 和泉・久保惣ミュージアムタウン周辺地域の住民及び市内外のアーティ ストや企業 |
| ⑤参加予定者数 | 500名（作品制作に参加する子どもたち／一般観覧者／アーティスト ・クリエイター／企業関係者） |
| ⑥告知方法 | 広報いずみ、チラシ配布、ポスター掲示、回覧、役員のSNS等発信、和 泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアムHP、企業協力など |
| <p>5 事業スケジュール</p> | |
| 次期（月） 2025 9-12月 2026年 1-2月 3月 4-5月 6-7月 7月末 | <p>内容</p> <p>企画書作成、和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアム会議開催。各方面 への協力要請。</p> <p>令和7年度予算作成 和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアム総会開催。アーティストと調 整。会場調整。計画書案作成。行事運営担当割作成。</p> <p>実施計画書案。担当割決定。実施要項作成。広報・案内・募集。 マニュアル修正。広報・案内・募集。</p> <p>体験型アートコンクール あっぷさくらフト 開催</p> |
| <p>6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 （実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してくださ い。）</p> | |
| ① 公益性 | <p>「体験型アートコンクール あっぷさくらフト」は、和泉市内外の子どもたちや 市民、企業、アーティスト、クリエイターが一体となって取り組むアートイベン トです。環境保護や創造性を育む内容であり、幅広い層の市民に共感を得られる 事業です。地域の資源を生かしたアート作品を通じて、多くの市民が文化的な交 流を図る機会となり、地域全体の魅力を高めます。</p> <p>また、幅広い方に参加していただけるように下記の点を配慮しております。</p> <p>1. ベビーカー・小さなお子さま連れの方への配慮 会場入口にベビーカー置き場を確保し、通路幅にも余裕を持たせることで、移動 しやすい環境づくりに努めます。</p> <p>2. 身体の負担に配慮が必要な方への工夫 前回の開催ではイスが不足し、急遽途中で増設しました。 本年度はあらかじめ十分な数のイスを設置し、休憩しやすい環境を整えます。 また、会場内の段差を避けたレイアウトとし、どなたでも安心して移動できるよ うにします。</p> <p>3. 作業のしやすさへの配慮（ワークショップ時） 参加者の体格に合わせやすいよう、高さの異なるワークショップ机を用意し、 無理のない姿勢で制作できるよう配慮します。</p> |

| | |
|----------------------------|---|
| ②継続性 | <p>本事業は、2022・2023 年に実施したアートコンクールや 2024 年の実験的ワークショップを経て、2025 年に初めて体験型アートコンクールとして本格的に開催しました。初回開催によって一定の認知が得られ、参加者・来場者双方の満足度も高く、今後定期的に実施することで地域の恒例イベントとして根付く可能性が見えてきました。さらに、前回の開催を通じて、来訪促進の観点から「クリエイター層をどのように取り込むか」という新たな課題も明らかになりました。地域住民や子どもたちだけでなく、クリエイターが関わり続ける仕組みを設けることで、イベントの質や広がりが一層高まると考えています。加えて、企業からの不要物提供やアーティストの活動支援といった持続可能な要素も継承されており、環境・社会・文化の観点からも継続的な発展が期待できる取り組みです。</p> |
| ③実行性 | <p>本事業は、地域住民・企業・クリエイター・アーティストが協力し、明確な目的のもとで実施されます。前回の開催においては、参加者の満足度を重視し入場料を無料とした一方で、企業や団体からの広告枠収益を活用することで事業を成立させました。この取り組みによって、地域内外の協力体制が強化されるとともに、広告枠の有効性が実証されました。今回の事業では、その成果を踏まえ、広告枠への認知や期待が一層高まり、スポンサーシップの拡大が見込まれます。また、アーティストの物販や企業からの素材提供など複数の収益・支援の仕組みが組み込まれており、持続的に実施可能な計画として整っています。これまでのアートコンクール（2022・2023 年）、ワークショップ（2024 年）、そして2025 年の初回本格開催の成功実績を基盤とすることで、実効性はさらに高まっているといえます。</p> |
| ④協働性 | <p>本事業は、和泉市内外のアーティスト、クリエイター、企業、市民が幅広く参加することで、多層的な連携を実現しています。子どもたちが多くの人に見守られながら制作に取り組むことは、世代を超えた交流を生み、地域の絆を深める場となります。また、企業が提供する不要物をアートの素材として活用する仕組みは、環境配慮とアートの融合を体現する協働のモデルケースとして位置づけられます。さらに本年度は、IKMC としてクリエイター交流会を実施したことにより、地域内外のクリエイターとのつながりが強化され、新たな協力者の増加も見込めます。これにより、事業全体の担い手層が広がり、協働性はより持続的かつ発展的なものとなっています。</p> |
| ⑤公開性 | <p>本事業は、広く市民に向けてアートの魅力や環境意識を発信する取り組みです。SNS や地元メディアを活用した広報活動に加え、ワークショップやコンクールの様子をオンラインでも発信することで、市内外から多くの関心を集め、市民が容易に参加できる環境を整えています。また、実際に地元紙からの取材も受けており、地域社会への情報発信の信頼性と波及効果が高まっています。前回はアーティストの物販ブースを設置しましたが、利用が少なく課題も見えました。その経験を踏まえ、今回はクリエイターへの関心を高める仕組みとして、サポーター参加を促す新しい工夫を導入します。具体的には、廃材を活用した「アートのカケラ」を来場者が最終的に持ち帰れる仕組みを用意し、体験を通じてアートと環境意識を日常に持ち帰ることができるようにします。これにより、アートの公開性と親しみやすさが一層高まり、市民やクリエイターが継続的に関心を寄せるきっかけとなることを目指します。</p> |
| ⑥発展性 (先駆性・展開性) (集客性) | <p>本事業は、2022・2023 年に開催したデジタル作品アートコンクール、2024 年の実験的ワークショップ、そして2025 年の初回本格実施を通じて、着実に発展を遂げてきました。初回開催によって一定の認知と支持を得られたことで、地域の恒例イベントへと成長する基盤が整いつつあります。今後は、子どもたちの創作活動にとどまらず、クリエイターやアーティストが参画し続ける仕組みを構築することで、地域外からの来訪促進にもつながり、より広域的な文化交流を生み出すことが期待されます。</p> |

| |
|--|
| また、企業から提供される不要物や地域資源の活用を軸とし、サステナブルな取組みをさらに発展させることで、環境教育・STEAM 教育の面からも社会的意義を拡大できます。さらに、IKMC として実施したクリエイター交流会や地元紙での取材実績を活かし、地域のクリエイターや企業との協力体制を拡充し、アートを基点とした新たなまちづくりのモデルを創出する可能性があります。これにより、和泉市内のみならず近隣地域や広域的な文化ネットワークとの連携へと発展し、アートを核とした地域活性化のさらなる推進が期待されます。 |
|--|

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第7条・第15条関係）

収支予算書

事業の名称： 体験型アートコンクール あっぷサクラフト

1. 【収 入】

（単位：円）

| 項 目 | 金 額 | 積算根拠 |
|------|-------------|--|
| 支援金 | 800,000 円 | 和泉市市民活動推進支援金 |
| 事業収入 | 925,000 円 | パンフレット広告協賛金 920,000 円 写真販売売上げ 5,000 円 |
| 自主財源 | 50,000 円 | 団体会計 |
| 合 計 | 1,775,000 円 | |

2. 【支 出】

（単位：円）

| 費 目 | 金 額 | 積算根拠（数量、単価等） |
|-------|-------------|---|
| 報償費 | 250,000 円 | ライブアート制作費 アーティスト 2 名×100,000 円 MC 出演 1 名/50,000 円 |
| 消耗品費 | 100,000 円 | 参加者 50 人分 制作道具各種 |
| 食糧費 | 56,000 円 | 飲物：搬入時 20 名分 当日 50 名分 お弁当：搬入時 20 名分×600 円 当日昼夜 50 個×600 円 |
| 印刷製本費 | 70,000 円 | 募集チラシ：和泉・久保惣ミュージアムタウン内小学校 配布 5000 枚 開催チラシ：市内各所掲示・設置 500 枚 パンフレット：会場予測 500 名分（予備含む） |
| 役務費 | 15,000 円 | イベント保険当日 50 名傷害保険 振込手数料 |
| 委託費 | 1,284,000 円 | 1) 広報物・ビジュアルデザイン制作 2) 記録撮影・動画撮影 3) 会場デザイン・制作物の作成 4) 会場の設営・運搬・撤去 ※詳細別紙① |
| 合 計 | 1,775,000 円 | |
| 対象経費 | 1,775,000 円 | |

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。